

子ども WEEKEND



2024.2.16 **fri**  日本財団
12:30-17:00 THE NIPPON FOUNDATION

※終了後、懇親会あり

今、日本の子ども福祉を見つめなおす

**場所：日本財団ビル（東京都港区赤坂 1-2-2）
またはオンライン**

※駐車場の用意はございませんので公共交通機関のご利用にご協力ください

主催：日本財団

後援：こども家庭庁（予定）

協力：子どもの家庭養育推進官民協議会

認定特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

参加費：無料

申し込み



会場参加および
オンライン
同時視聴のみ、
アーカイブ配信はなし。

締め切り

<会場参加>2024年2月6日（火）23:59

<オンライン参加>2024年2月15日（木）23:59

2023年4月にこども家庭庁が発足し、こども基本法が施行となったことで、日本の子ども政策は大きな転換期を迎えました。12月にはこども大綱が閣議決定され、これら都道府県や市町村がこども計画を策定していく予定です。また、2024年4月から改正児童福祉法が施行となり、児童育成支援拠点（子どもの居場所）、里親支援センター、妊産婦等生活援助事業など、子どもや家族を支える新たな制度が始まります。

この機会に、日本財団は、「子ども」に徹してフォーカスしたイベント「日本財団 子ども WEEKEND」を開催します。

行政・自治体・NPOなどの実践者が一堂に会し学びあう場に。子どもの居場所に通う子ども達が運営するカフェや、養病児も参加するパフォーマンスなども行われます。

第1会場

第2会場

第3会場

12:30～12:55

<開会挨拶> 日本財団 理事長 尾形政寿

「日本財団の子ども支援の全体像と今後の方針」

日本財団 公益事業部子ども事業本部長
高橋恵里子

13:00～14:30

<分科会1>

こども基本法、こども大綱、子どもの権利

13:00～14:30

<分科会2>

広げよう！子どもの居場所での包括支援

13:00～14:30

<分科会3>

養病の子どもと家族が輝ける社会へ

休憩

休憩時間には、大阪のフリースクール「キリンのとびら」（子ども第三の居場所）に通う子ども達による「子どもカフェ」を出店します。

15:00～16:50

<分科会4>

社会的養護と子どもの居場所との連携

15:00～16:50

<分科会5>

予断せぬ妊娠 - 官民で切れ目ない支援を

15:00～16:30

<分科会6>

ふるさと納税による NPO 支援の可能性

分科会1 こども基本法、こども大綱、子どもの権利—日本のこれから—

こども基本法やこども大綱をめぐる状況について、こども家庭庁や滋賀県知事、国連子どもの権利委員よりお話を頂きます。

大谷美紀子（国連子どもの権利委員会委員）
佐藤勇輔（こども家庭庁長官官房参事官（総合政策担当））（予定）
三日月大造（滋賀県知事／全国知事会子ども・子育て政策推進本部本部長） ※オンライン登壇
こどもたち

分科会2 広げよう！子どもの居場所での包括支援

2024年度から始まる児童育成支援拠点事業。なぜ必要？どう実施する？国、先行自治体・支援団体の声から探ります。

永松信（岸野市長・大分県）
早川信司（社会福祉法人子供の家 施設長）
山口正行（こども家庭庁 成育局 成育局課課長）
李朝輔（認定特定非営利活動法人 Learning for All 代表理事）

分科会3 難病の子どもと家族が輝ける社会へ

難病にとらわれず、難病の子どもやきょうだい児、家族ひとりひとりを支えるための先進的な地域の取り組みとは？

秋山政明（一般社団法人 Burano 理事）
島津智之（認定特定非営利活動法人 NEXTEP 理事長）
寺田真実（特定非営利活動法人 心魂プロジェクト 共同代表）
藤部剛（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課 課長補佐）
美早苗（一般社団法人在宅療養ネットワーク 代表理事）
宮副和幸（全国医療的ケアライン 代表）

分科会4 社会的養護と子どもの居場所との連携

実は関わりが強い社会的養護と子ども食堂・子どもの居場所。家庭養育を推進するために何ができるか考えよう。

宇野明香（特定非営利活動法人 happiness 理事長・星塚）
上廣渡和宏（早稲田大学人間科学学術院教授・早稲田大学社会的養育研究所 所長）
北川聡子（日本ファミリーホーム協議会 会長）
土井香苗（国際 NGO ヒューマン・ライツ・ウォッチ 日本代表）
植本達昌（全国児童家庭支援センター協議会 会長）
星美帆（特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会 子どもの居場所「月の家」責任者）
李朝輔（認定特定非営利活動法人 Learning for All 代表理事）

分科会5 予期せぬ妊娠—盲目で切れ目ない支援を

予期せぬ妊娠は女性個人の課題？問題の根拠に目を向け「社会問題」と認識し母子を支える必要性やその方法を議論します。

赤尾さく美（一般社団法人ベアホープ 理事 助産師）
尾本直樹（法政大学名誉教授・教育評論家）
瀧里徳子（社会福祉法人 福岡母子福祉協会 産前・産後母子支援センター Comomote/センター長）
福井充（福岡市こども未来局こども家庭課 こども福祉係長）

分科会6 ふるさと納税による NPO 支援の可能性

地域課題への活用事例を、現場の自治体・NPO・ポータルサイトを巡え深掘り。子ども分野で年1億円を集める NPO も。

岩永幸三（認定特定非営利活動法人日本 IDDM ネットワーク 理事長）
朝尾雅隆（認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会 代表理事）
川崎まり子（佐賀県 県民環境部 県民協働課長）
宮内俊樹（株式会社トラストバンク ゼネラルマネージャー）

※登壇者は五十名程度です。
※内容に一部変更が生じる可能性があります。

① 休憩時間は、大阪のフリースクール「キリンのとびら」（子ども第三の居場所）に通う子ども達による「子どもカフェ」を出店します。



② 終了後、子ども WEEKEND DAY1 のご出席者であればどこでも参加可能な交流会を実施いたします。奮ってご参加ください。



（特）心魂プロジェクトによるライブパフォーマンスも予定しています。

お問い合わせ

日本財団 子ども WEEKEND DAY1 運営事務局

電話：03-5244-5364（営業時間 平日 10:00～18:00）メールアドレス：jimakyoku@cp-entry.net

※DAY1 と DAY2 のお問い合わせ先が異なりますので各ページをご確認ください。

※お問い合わせいただく際の件名に【子ども WEEKEND DAY1 について】と記載くださいますようお願いいたします。

※携帯電話のアドレスをご利用の場合、事務局ドメイン @cp-entry.net が受信可能な設定にいただきますようお願いいたします。

場所：日本財団ビル 8 階
時：17:30～20:00
※途中参加・退室可
参加費：無料